

前回の9月号で少し触れたけど、お金の種類に「市債」という市の借金があったね。今回は、市の借金と貯金についてお話するよ。



平成30年度の決算では、市債収入が28億9,692万円もあったけど、どんな事業に使っているの？

平成30年度は、一般廃棄物最終処分場の建設や橋の架け替え工事、市道や老朽化している公共施設の整備などに市債を使っているよ。

そもそもなんで借金をするの？
一度に支払うことはできないの？

大きい額の建設費用を一度に支払ってしまうと、他の事業に使うお金が足りなくなってしまうんだ。それを補おうとすると、その年だけ税率や使用料などを引き上げて収入を確保しないといけなくなって、そのときの住民だけに負担がかかるよね。

そこで、長期間にわたって使用していく道路や建物などに関する建設費用に市債を使うことで、市の財政負担を減らしつつ、住民負担の世代間の公平を図っているんだよ。

借金をするにはちゃんと理由があったんだね。

そうだね。それに市債にはいろいろな種類があるんだけど、なるべく将来の返済による財政への負担を軽減するために、市にとって返済条件が有利なものを選んでお金を借りているんだ。



ごしょりん、市が借金をする理由は分かったけど、お金が足りなくなったときに使えるような貯金はないの？

市には財政調整基金(財政調整積立金)という貯金があるよ。予期しない収入の減少や支出の増加等に備えて過去の決算で余ったお金などを積立しているんだ。



財政調整基金の推移



グラフを見て分かるように、近年は減少傾向にあった基金残高はH31末時点では増加しているよ。

これは事業の見直しの成果なんだ。今後も適正な財政運営を図って、財政調整基金の増加を目指していくよ。

そうなんだ。これからどんどん増えていって欲しいな。市の借金と貯金について分かってきたけど、財政全体の現状はどうなっているんだろう。

市の財政の全体像については、次回、平成31年度決算の状況を家計簿に置き換えて説明するよ。